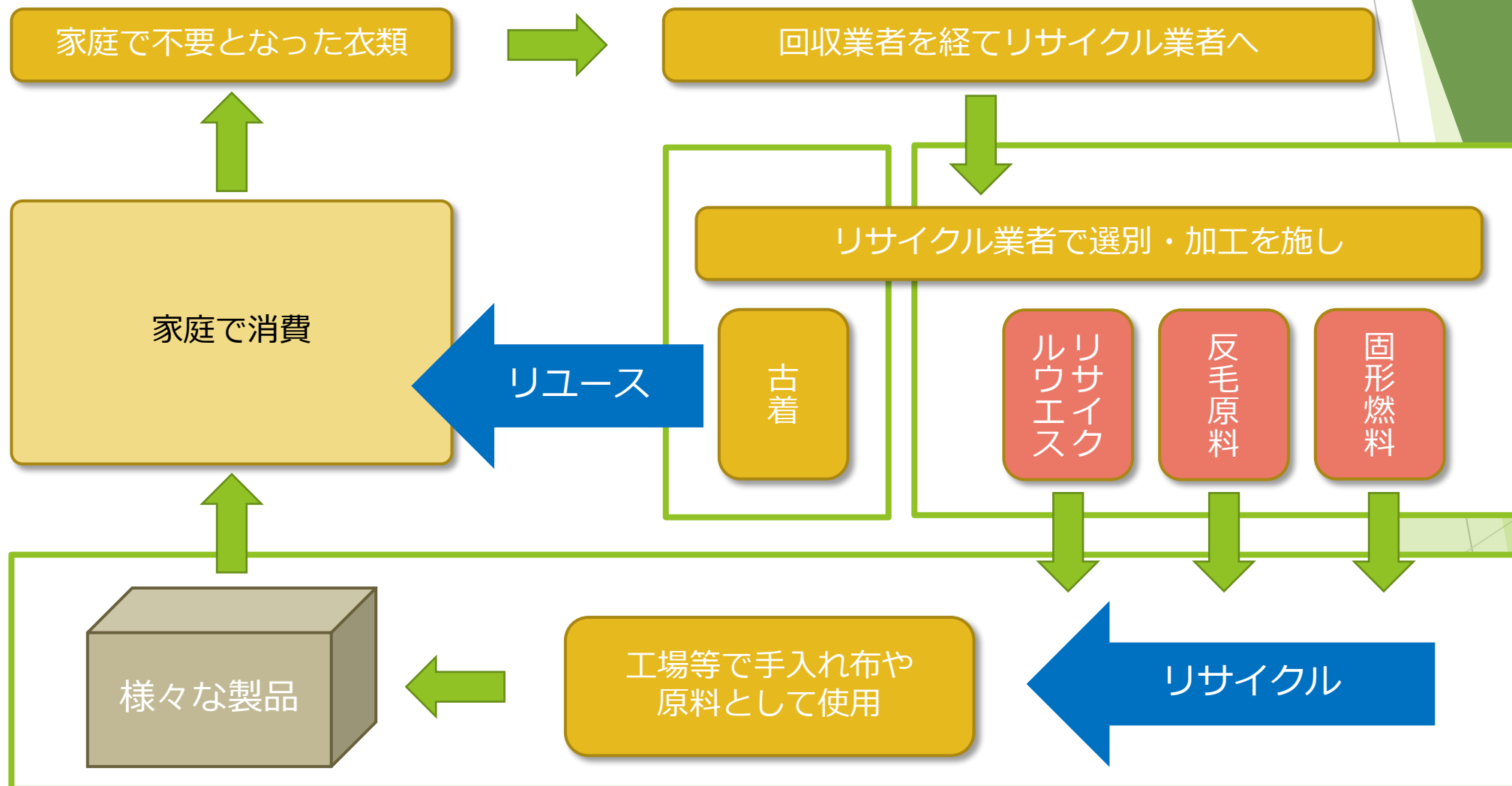


衣類のリサイクル

衣類のリサイクルから考えるSDGs <20210712TASHIROSHOUTEN>

衣類のリサイクルの流れ

衣類の循環

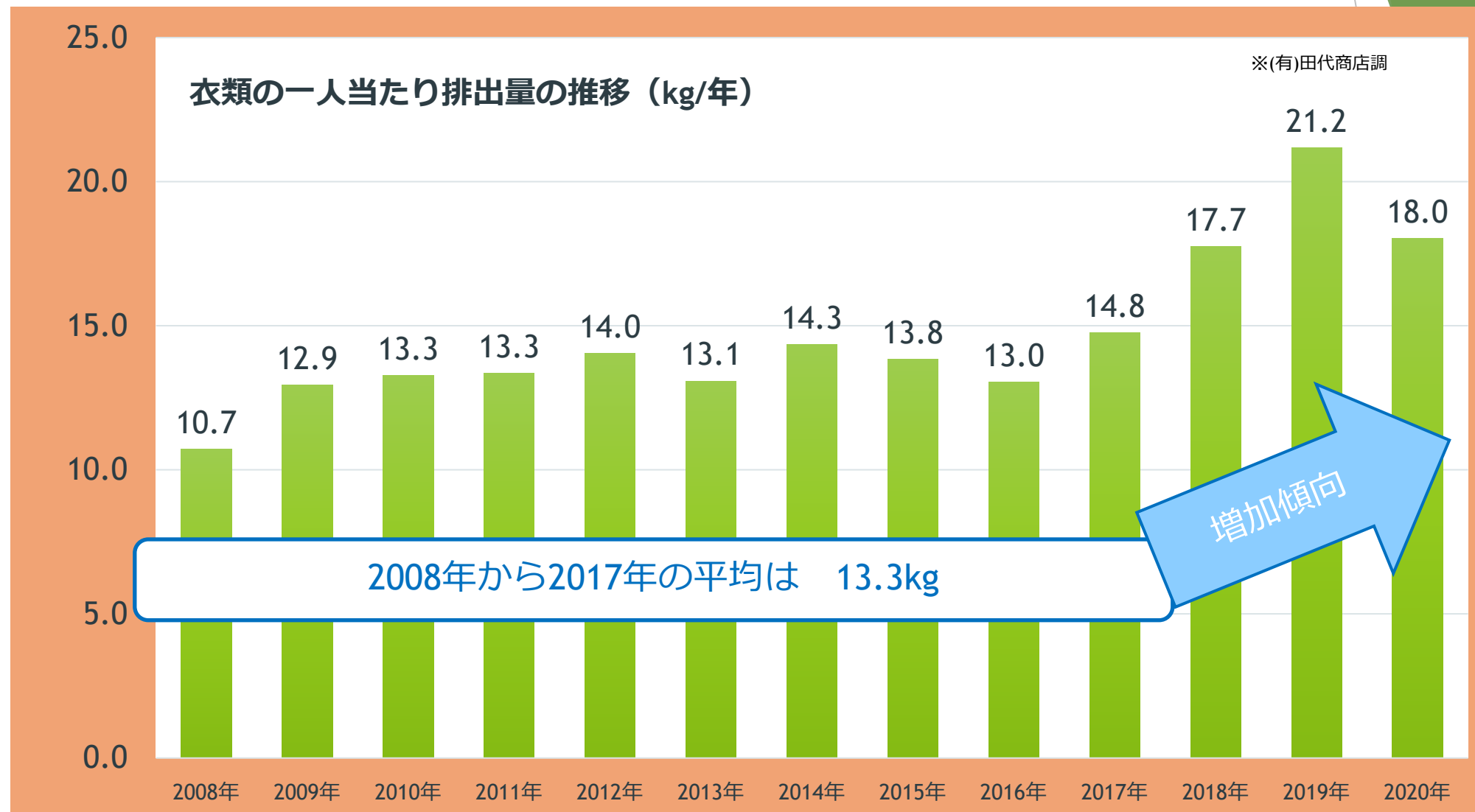


衣類の一人当たり排出量の推移

- 衣類の一人当たり排出量

約11kg

衣類の一人当たり排出量の推移



衣類排出量が増えた、考えられる理由

● 安価なファストファッションの流行

流行を追い求める傾向の加速による衣類の使い捨て

● 衣類リサイクルへの関心の高まり

まだ使える衣類をもう一度活用してほしいという思いと
衣類ならなんでもリサイクルできるという誤った認識

● 時事的要因

断捨離、ミニマリスト、コロナ禍、など
生活スタイルの変化

問題点

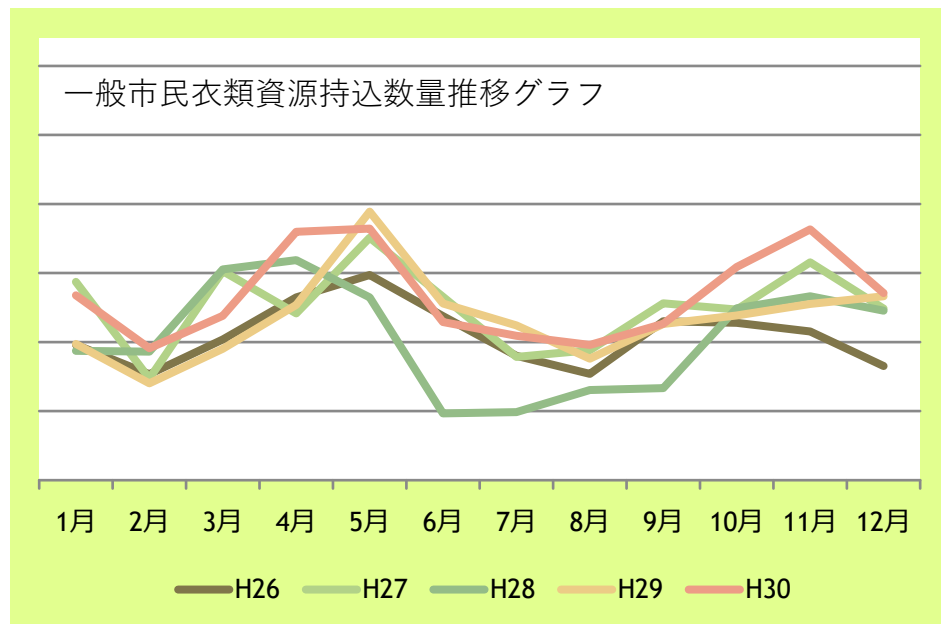
⇒衣類の大量生産・大量消費

⇒リサイクル不能品の混入

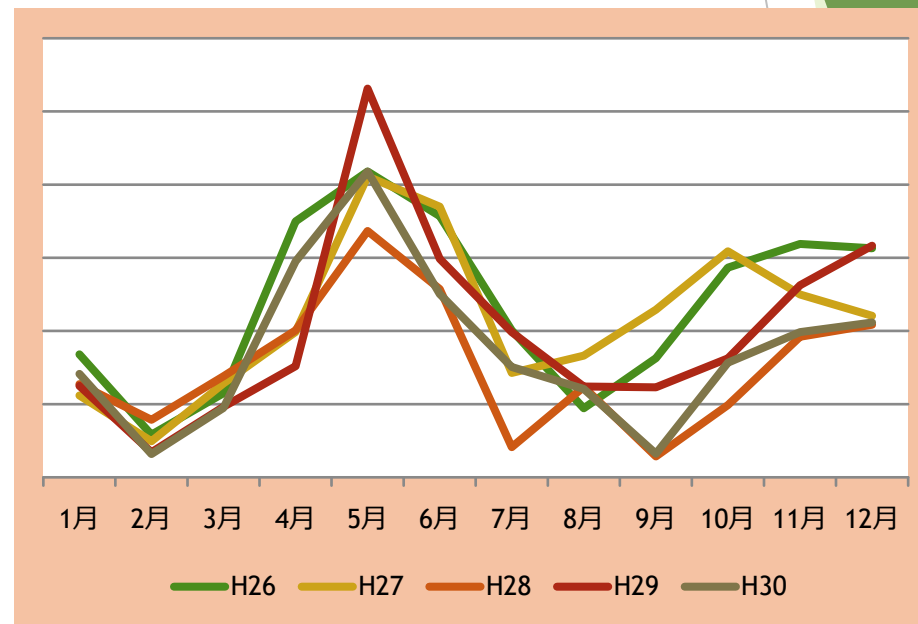
⇒爆発的な排出量の増加

衣類の発生と回収

＜一般市民による衣類の持ち込み量の推移＞



＜回収業者による衣類の回収量の推移＞



回収は衣替えの時期に集中して行われることが多い。
しかし、それ以外の時期も年間を通じて衣類は排出されている。

⇒回収がない時期は衣類資源が廃棄処分されている可能性がある

年間を通して
安定した
回収システムの
確立が必要

衣類はどうやって回収されるか

●行政回収

有効

市町村による定期的な回収。
月1～2回、隔月1回、年1～2回など、市町村により様々。

傾向

⇒未実施の市町村もある。
・回収コストの上昇
・取り扱いの煩雑さ

●学校回収

小中学校による資源回収。
年1～2回。

⇒減少傾向にある。
・地域とのつながりの弱体化
・核家族化

●拠点回収

販売店や回収業者による回収。
随時、イベント開催時。

⇒増加傾向にある。
・環境への関心の高まり
・排出しやすさ

全ての衣類をリサイクルしないと・・・

＜1人が年間18kgの衣類を排出する場合排出される日本全体の衣類の量＞

$$18\text{kg} \times \text{人口1億2563万人} = 2,261,340\text{トン}$$

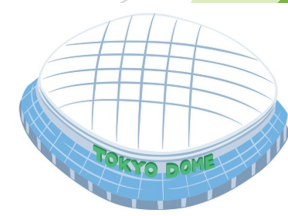
＜上記を全て焼却処分した場合に発生する二酸化炭素の量＞

$$2,261,340\text{トン} \times \text{化繊 72\%} \times \text{2倍の重さ} = 3,256,329.6\text{トン}$$

$$2,261,340\text{トン} \times \text{自然由来 28\%} \times 0.239\text{kg} \text{ ※} = 151,328.8\text{トン}$$

$$3,256,329.6\text{トン} + 151,328.8\text{トン} = 3,407,658\text{トン} = \text{東京ドーム 1,400個分}$$

※自然由来繊維の二酸化炭素排出量は、一般廃棄物を焼却した際に排出される二酸化炭素の排出量を使用。



現状はどうか

<1人が年間18kgの衣類を排出する場合排出される日本全体の衣類の量>

18kg

×

人口1億2563万人

=

2,261,340トン

⇒このうち約20%が回収、リサイクルされている

<回収されリサイクルされていることで排出抑制されている二酸化炭素量>

2,261,340トン

×

20%

=

452,268トン

=

681,531トン

=

東京ドーム 280個分

<回収されていないことで排出されている二酸化炭素量>

2,261,340トン

×

80%

=

1,809,072トン

=

2,726,127トン

=

東京ドーム 1,120個分



衣類の回収率を上げリサイクル量を増やすことで、この二酸化炭素の排出を抑制できる。

衣類の活用

●古着

国内の古着販売店にてリユース。
海外へ輸出。主に開発途上国などでリユース。

ポイント

⇒そのまま衣類としてリユース。
・需要に合ったものを供給
・多くのマーケットを知る

●リサイクルウエス

衣類を裁断して作る工業用の雑巾。
印刷業や整備業などで使用。

⇒形を変えてリサイクル。
・安心安全な製品づくり
・用途に合わせた素材の提案

●反毛原料他

衣類を繊維に戻して作る反毛フェルト。
車の部品や工業用資材として使用。

⇒専用業者にて加工。

今後の衣類のリサイクル

●衣類の排出

衣類の使い捨ての見直し、衣類寿命を延ばす、休眠衣類の活用。
衣類リサイクルに適した正しい方法で衣類を排出。

●衣類の回収

一枚でも多くの衣類に適した形でリサイクルラインへ。
安定した継続的な衣類回収システムの確立が必要。

●衣類のリサイクル

その衣類に最適な方法で、継続した衣類リサイクルを行う。
衣類に対する思いを大切に、必要としている人に届ける。

衣類のリサイクルとは

- 衣類の寿命を延ばすことで、二酸化炭素排出量を抑制。

衣類を二次利用三次利用することで衣類の寿命を延ばすことができる。
新たな資源を使わずに、資源を有効活用できる。

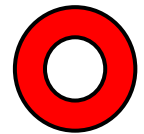
- 世界でリユースすることで、健康的な生活を実現。

開発途上国にも日本向けに作られた質の良い衣類を比較的安価に届けることができる。

- もったいないという人の思いをつなぐ。

思い入れのある衣類をただゴミにするのではなく、必要としている人に届ける。

衣類の排出の仕方



タンスにしまえる状態の衣類を
乳白色の袋に入れて口をしっかり縛って
気持ちよく晴れた日に排出しましょう。



衣類以外のものや汚れがひどいものは
混入しないようにしましょう。

ジェンダーの視点



衣類のリサイクル

衣類のリサイクルから考えるSDGs <20210712TASHIROSHOUTEN>

ご清聴ありがとうございました。